

令和3年度 中山町商工会経営発達支援事業 事業評価委員会【会議報告】

日時 令和3年9月7日（火） 書面開催
場所 中山町商工会 会議室

令和2年度中山町商工会経営発達支援計画事業報告

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること

(事業内容)

①中小企業景況調査

受託事業の中小企業景況調査により、地域内の調査対象15事業所（建設業2企業、製造業2企業、小売業5企業、サービス業6企業）の四半期毎の売上高・仕入原価・在庫量・業況等について前年度比較も含めて調査した。四半期毎の調査結果については、県内の会員企業の景況として県連会報に公表され、商工会HPに公表し情報提供を行った。

②中山町商工会管内景況調査

商工会会員事業所に対し記名式のアンケート調査を実施した。会員事業所260社に調査票を発送し11月10日から12月18日の間、アンケートの回収を行った。有効回収件数については94件。アンケート内容については主に次の4つ、合わせて商工会に対する意見や要望を記入頂いた。

1. 経営方針について
2. 後継者候補について
3. 経営上の悩みについて
4. 商工会に希望する支援について

今回の調査結果については、設備投資に係る補助金案件、事業承継等、今後の商工会支援における基礎資料となった。また、商工会HPに公表し会員事業所への情報公開を行い、今後の経営に関する意識を啓蒙した。

(目標・実績)

項目	H28 実績	H29 目標	H29 実績	H30 目標	H30 実績	R1 目標	R1 実績	R2 目標	R2 実績	R3 目標
中小企業景況調査	60回	60回	60回	60回	60回	60回	60回	60回	60回	60回
中山町商工会管内景況調査	0	280回	239回	280回	7回	280回	100回	280回	260回	280回

2. 経営状況の分析に関すること

(事業内容)

①経営状況実態把握

日常の相談業務やセミナーの参加を通して分析の対象となる小規模事業者をピックアップし、事業承継診断及び経営状況等を把握し、売上高、売上総利益、経費等の項目を基に経営分析を行い、売上高前年対比、売上総利益率前年対比、経常利益前年対比について実態を把握した。

②経営分析に係るセミナー等の開催

9/2 働き方改革個別相談会 1名

2/18 経営課題解決個別相談会(広域)3名

2/26、3/5、3/12 税務相談会 54名

(目標・実績)

支援内容	H28 実績	H29 目標	H29 実績	H30 目標	H30 実績	R1 目標	R1 実績	R2 目標	R2 実績	R3 目標
経営分析件数	13社	15社	29社	17社	37社	17社	71社	20社	68社	20社
セミナー開催回数	5回	5回	5回	5回	6回	5回	13回	5回	5回	5回
セミナー開催における個別指導数	50社	50社	69社	50社	52社	50社	57社	50社	58社	50社

3. 事業計画策定支援に関すること

(事業内容)

〈既存の事業者に対する事業計画策定支援〉

①事業計画策定セミナー・個別相談会の開催

セミナーの開催なし。

日常の相談業務において事業計画策定支援を行い、小規模事業者持続化補助金、マル経融資、県新生活様式対応補助金等に繋がった。(45件)

②経営革新セミナー・個別相談会の開催

10/14、21、28 経営革新塾(広域)4名

③事業承継セミナー。個別相談会の開催

セミナーの開催なし。

④簡易な事業計画シートを用いた事業計画策定支援

簡易な事業計画シートの作成が進まず実行していない。

〈創業者・創業予定者に対する事業計画策定支援〉

①巡回訪問・窓口相談による掘り起し

巡回訪問・窓口相談を通じて、事業計画の意義や策定の必要性・有効性に係る理解を深めてゆきながら、創業補助金等の制度情報を提供することで事業計画策定を目指す創業者、創業予定者の掘り起こしを行い事業計画の策定を支援した。(2件)

内、1件が創業した。

③関係機関との連携

中山町、日本政策金融公庫、町内金融機関と連携し、各支援機関等の情報やノウハウを共有し小規模事業者の創業支援が円滑に対応できるよう支援体制づくりを行った。

④専門家との連携

専門家による個別相談を活用し、より具体的な実効性のある支援を行った。

(目標・実績)

支援内容	H28 実績	H29 目標	H29 実績	H30 目標	H30 実績	R1 目標	R1 実績	R2 目標	R2 実績	R3 目標
事業計画策定セミナー回数	0回	1回	6回	1回	7回	1回	1回	2回	1回	2回
事業計画策定事業者数	17社	32社	12社	36社	35社	36社	35社	38社	47社	41社
経営革新	1社	1社	1社	1社	0社	1社	0社	0社	0社	1社
一般	8社	26社	7社	30社	31社	30社	34社	34社	45社	35社
持続化補助金	8社	13社	5社	15社	9社	15社	16社	16社	19社	20社
創業	4社	5社	4社	5社	4社	5社	1社	1社	2社	5社
小規模事業者経営改善資金斡旋数	8社	15社	11社	15社	17社	15社	18社	17社	11社	20社
小規模事業者経営発達支援資金斡旋数	0社	1社	0社	1社	0社	1社	0社	1社	0社	2社

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

(事業内容)

①フォローアップ支援

職員が原則四半期毎（年 4 回）に事業所巡回訪問を行い、事業進捗状況の把握、確認を行うとともに、未実施、未達成事項が確認された場合は、追加的アドバイスや必要な指導、支援策、助言を行う等のフォローアップを実施した。

特に、持続化補助金に係る事業計画の策定、法認定に係る事業計画の策定、県の補助事業に係る事業計画の策定に係る事業所を重点的にフォローした。

②創業者に対するフォローアップ支援

専門家の指導を受け商工会のフォローにより 1 件創業した。

③計画遂行のための資金調達支援

事業計画の策定、実施支援により小規模事業者の事業の持続的発展のための取り組みに必要な設備及び運転資金などの資金需要については「小規模事業者経営改善資金」の活用を推進した。「小規模事業者経営発達支援融資制度」については相談等なし。

④専門家を活用した伴走支援

計画実行の結果を検証し、課題があれば、改善策を事業者と共に検討した。それを踏まえた新たな事業計画策定支援を行った。商工会で解決が困難な専門的な課題については、山形県企業振興公社のよろず拠点コーディネーターや山形県商工会連合会専門家派遣事業などと連携した伴走型支援を行った。

(目標・実績)

支援内容	H28 実績	H29 目標	H29 実績	H30 目標	H30 実績	R1 目標	R1 実績	R2 目標	R2 実績	R3 目標
フォローアップ回数	13 回	108 回	212 回	124 回	393 回	124 回	509 回	132 回	568 回	144 回
創業者フォローアップ回数	24 回	30 回	79 回	30 回	39 回	30 回	1 回	30 回	1 回	30 回

事業計画策定後のフォローアップ実施状況

R1 継続分含む (47 社)	売上高 増加事業所数	売上総利益率 増加事業所数	経常利益 増加事業所数
増加	21 社	21 社	26 社
減少	25 社	16 社	21 社
横這い (増減 1%以内)	1 社	10 社	0 社

5. 需要動向調査に関すること

①山形県産食品等販路開拓支援事業の活用

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により中止となった。

②消費者モニタリング調査

実施無し。

③日経テレコン POS 情報・業界紙の活用

販路開拓やトレンドを把握する為、日経テレコンを活用し情報提供を行った。

(目標)

支援内容	H28 実績	H29 目標	H29 実績	H30 目標	H30 実績	R1 目標	R1 実績	R2 目標	R2 実績	R3 目標
①-1 山形県産食品等販路開拓支援事業の活用事業所数	0	3社	0社	3社	1社	3社	1社	3社	0社	3社
①-2 バイヤーのニーズ調査件数 (1社×8社)	0	24件	0件	24件	0件	24件	0件	24件	0件	24件
①-3 バイヤーのニーズ等情報提供事業所数	0	3社	0社	3社	0社	3社	0社	3社	0社	3社
②-1 消費者モニタリング調査回数	0	3回	4回	3回	0回	3回	0回	3回	0回	3回
②-2 消費者モニタリングサンプル数 (1社×100個)	0	300個	404個	300個	0個	300個	0個	300個	0個	300個
②-3 消費者モニタリング調査情報提供数	0	3社	2社	3社	0社	3回	0回	3回	0回	3回
③日経テレコン POS 情報・業界紙を活用した情報提供事業所数	0	5社	3社	7社	2社	10社	2社	10社	2社	12社

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

(事業内容)

①ニッポン全国物産展を活用した販路開拓

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により事業の見合わせ。

②物産展・商談会事前セミナー・個別相談会への参加勧奨

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により事業の見合わせ。

③展示会等への参加勧奨

リアル、オンラインを駆使した展示会への参加（1社）

④インターネットを活用した販路開拓支援

小規模事業者持続化補助金を活用して自社 EC サイトを立ち上げ、販路開拓を支援した。（2社）

⑤製造業者に対する販路開拓支援

・製造業経営セミナー、モノづくりネットワーク事業に係る情報提供を行った。

⑥建設業者に対する販路開拓支援

・中山町の除雪に係る支援を行った。

⑦SNS アカウントからの情報発信

・「Facebook」にて青年部、女性部等、各種団体の情報発信を行った。

⑧その他情報発信

・商工会 HP にて支援情報を提供した。
・商工会報にて事業所の取組み事例や情報を発信した。（3社）
・中山町飲食店振興会にてテイクアウト・デリバリー共同チラシ（9社）を作成し町内に新聞折込みを行った。

⑨専門家と連携した伴走支援

実施なし

（目標）

支援内容	H28 実績	H29 目標	H29 実績	H30 目標	H30 実績	R1 目標	R1 実績	R2 目標	R2 実績	R3 目標
展示会・商談 会参加事業 所数	0	3社	12社	3社	4社	4社	12社	4社	1社	4社
展示会・商談 会商談件数	0	24社	7社	24社	5社	32社	39社	32社	0社	32社
EC サイト支 援事業所数	0	2社	0社	2社	3社	3社	0社	3社	2社	3社
HP・会報・SNS 情報発信事 業所数	24社	30社	18社	30社	38社	30社	5社	40社	12社	40社

II. 地域経済の活性化に資する取組

（事業内容）

①「関係団体等協議会」の開催

中山町の主要な構成団体やメンバーで構成する「元祖芋煮会実行委員会」が「中山町観光協会」の事業の一つとなり運営。関係者間の意識の共有を図るために会議を開催し、地域の活性化と、小規模事業者が事業を持続的に発展させるための良好な環境が整備されるよう事業が実施されるための提言を行った。

※中山町観光協会メンバー（中山町、中山町議会、中山町婦人会、(株)中山町振興公社、山形農業協同組合、中山町観光ガイドひまわり会、中山町商工会）

②「元祖芋煮会 in 中山」の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により事業の中止。

芋煮会イベントの代替として「Go To 芋煮会」を実施した。（町内の飲食店で3名以上で「芋煮会」をする場合、その飲食代金の一人当たり半額（1,500円上限）補助。）

③地域イベントへの協力及び新商品等の販売・PR

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により事業の見合わせ。

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

日本政策金融公庫とのマル経協議会を年1回開催、保証協会との金融懇談会を年1回開催し情報交換を行った。

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

(1) 資質向上

(事業内容)

①山形県商工会連合会が主催する研修会への参加

山形県商工会連合会が主催する研修会を基本として年1回参加し、最新の情報や小規模事業者への支援ノウハウを習得し巡回、窓口相談等の支援時に活用した。

②中小企業大学校研修への参加

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により参加の見合わせ。

③全国商工会連合会が開催する経営指導員資質向上WEB研修受講

全国商工会連合会が開催する「実務型コンテンツ」経営指導員資質向上WEB研修を受講し、事例や実践を踏まえたノウハウ取得や確認テスト等による反復学習で小規模事業者の支援に必要な個別支援能力や税務・金融・経営・労働・経営革新などの個別相談への支援力向上を図った。

④外部講師からの情報収集

経営革新塾や経営計画策定セミナーに事務局として参加し支援ノウハウや事例などに

よる情報の収集を行い支援能力の向上を図った。

(2) ノウハウの共有方法

(事業内容)

①職員間での共有

毎日始業時に朝礼を行い日程の確認や情報の共有を行った。

②経営支援システムの活用

全国商工会連合会の「経営支援システム」を活用し支援内容を入力しデータベース化した。

(委員からの評価)

- ・コロナ禍の中で可能なことにはよく努力したと思われる。
- ・コロナ禍で活動が制限される中、できるだけの対応をしていたと思われる。
- ・コロナ禍で実施できなかった事業があったが概ねできていた。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、様々な活動が制限される中、目標に対し懸命に取り組んでいただいた跡が感じられる数値であったと感じます。特に、一般の事業計画策定支援ならびに、フォローアップ支援の回数が目標を上回ったということは素晴らしい成果であると思います。新型コロナウイルス感染症に対する治療薬や飲み薬が年明けには出てくるのではないかと噂されており、ポストコロナを見据えた動きが重要になってくるものと思います。引き続き事業計画策定支援、特に中長期の期間を見据えたポストコロ支援を行っていただければと思います。
- ・I-5.6に関し、目標数値に届いていないようですが、コロナ禍が大きく影響していることが読み取れますのでやむを得ないと考えます。
- ・コロナ禍により様々な制限のある中での事業推進は大変かと思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

事業評価委員

No.	所属	氏名	備考
1	中山町商工会長	小松壮一	委員長
2	中山町商工会副会長	大津慶友	
3	中山町商工会副会長	鎌上徹	
4	渋谷税務会計事務所	渋谷和	外部有識者
5	中山町役場	結城俊治	行政関係者
6	山形県商工会連合会	多田和弘	